

平成22年6月9日

各 位

会 社 名 シーシーエス株式会社  
 代表者名 代表執行役社長 米田賢治  
 (JASDAQ・コード6669)  
 問合せ先  
 役職 経理財務グループマネージャー  
 氏名 梶原慶枝  
 電話 075-415-8280

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年3月8日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 業績予想の修正

(単位：百万円)

平成22年7月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年8月1日～平成22年7月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	一株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	4,480	△440	△520	△560	△28,011.20
今回発表予想 (B)	4,640	△320	△400	△1,280	△63,929.68
増減額(B-A)	160	120	120	△720	—
増減率(%)	3.6%	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成21年7月期)	3,608	△915	△950	△784	△38,902.91

平成22年7月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年8月1日～平成22年7月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	一株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	3,650	10	1	△120	△6,002.40
今回発表予想 (B)	3,890	170	150	△320	△15,982.42
増減額(B-A)	240	160	149	△200	—
増減率(%)	6.6%	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成21年7月期)	3,094	△577	△583	△633	△31,430.03

## 修正の理由

(通期(連結・個別)業績予想の修正理由)

売上高はLED照明事業のマシンビジョン分野において、各国政府の経済対策や中国を中心とした新興国の需要の回復及び拡大により、主要顧客である電子・半導体業界において国内・海外で設備投資が再開し、特に携帯電話、薄型TV関連等の受注が好調に推移しております。

野菜事業は、新たな販売チャネルの構築、取扱店舗数の拡大に取り組んでまいりましたが、個人消費の低迷や露地野菜との価格競争の影響を受けて、厳しい状況が続いております。

利益につきましては、売上高の増加や経費の削減にグループを挙げて引き続き取り組んでいることから営業利益及び経常利益は前回予想を上回る見込みであります。本日付で「特別損失の発生に関するお知らせ」にて公表しております固定資産の減損及びのれんの減損損失を特別損失として計上することから、当期純損失は前回予想を下回る見込みであります。

この結果、通期の連結業績予想は、売上高4,640百万円(前回予想4,480百万円)、営業損失320百万円(前回予想 営業損失440百万円)、経常損失400百万円(前回予想 経常損失520百万円)、当期純損失1,280百万円(前回予想 当期純損失560百万円)に修正いたします。

また、個別業績につきましても、売上高、営業利益及び経常利益は上記と同様の理由から前回予想を上回る見込みであります。本日付で「特別損失に関するお知らせ」にて公表しております、関係会社株式評価損及び固定資産の減損損失を特別損失として計上することから、当期純損失は前回予想から下回る見込みであります。

この結果、通期の業績予想は、売上高3,890百万円(前回予想3,650百万円)、営業利益170百万円(前回予想 営業利益10百万円)、経常利益150百万円(前回予想 経常利益1百万円)、当期純損失320百万円(前回予想 当期純損失120百万円)に修正いたします。

以 上

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。